



酒匂の清流



令和5年3月17日(金)発行

校長 津田 将美

QRコードは、ホームページのアドレスです。

学校の姿

グラウンドから明るい子どもたちの声が聞こえてきます。心地よい春の風と共に、その声は聞く人の気持ちも明るくしてくれます。

3月1日に新しいグラウンドの引き渡しが完了し、松田小学校も3年ぶりに本来の学校の姿にもどりました。休み時間にはたくさんの子が外に出て、元気いっぱい活動しています。

体育の時間には、友達同士で励まし合う声が響き渡り、学校生活全体が更に活気づいてきているようです。友達と共に力いっぱい動き回る姿、楽しい時間を共有し歓声を上げる姿、友達の成功をみんなで喜ぶ姿、そのどれもが私たちが待ち望んでいた学校本来の姿です。

しかし、今振り返ってみると、コロナ禍の校舎建築という環境の中、不便さを感じながらもできることを精一杯がんばってきた姿も、松田小学校のその時々の「学校の姿」だったのだと思います。

制限の多い限られた環境の中でも、子どもたちは常に明るく前向きに学校生活を送ってくれました。日々の小さな事象や出来事に感動し、そして目を輝かせて報告してくれる姿には、私たち大人も見習わなくてはならない前向きさがありました。

そしてその姿に励まされて、職員も前に進んできました。コロナ禍での校舎建築、グラウンドのない状況、そのような中でも子どもたちのために行うことについて、職員から不平や不満を聞いたことがありません。それどころかいつも前向きなエネルギーを感じながら、私も楽しく仕事をさせていただきました。

子どもも大人も前向きになり、力を合わせて困難を乗り越えていく姿もまた、「学校の姿」でした。その時、その時の学校の姿は、今あるべき姿に戻るための大切な過程だったのかもしれない。



3年間「酒匂の清流」を通して、子どもたちの姿や職員の想いなどをお伝えさせていただきました。保護者や地域の皆様からはあたたかい励ましの言葉をたくさんいただき、本当にありがたかったです。私の書く「酒匂の清流」も今号で最終号となります。

3年間、お付き合いいただき、本当にありがとうございました。

これからも、いつまでも松田小学校のことを応援しています。



ありがとうを伝える

全校で「6年生に感謝の気持ちを表す」という共通の目標のもと、6年生を送る会の準備が進んでいました。ひとつひとつの取り組みに相手意識、目的意識があり、学校がとてもあたたかい雰囲気になっていました。

そんな中、3月9日に「6年生を送る会」が行われました。全校での参集がまだできない状況の中で、5年生が代表して全校の想いを心をこめて伝える会となりました。

実際に参加したのは5、6年生ですが、全校で創り上げたビデオのプレゼントは圧巻でした。校歌と「ありがとうの花」を学年ごとに歌い、それを編集し、全校の「ありがとう」の心を言葉と歌で伝えていました。6年生からは、自然とあたたかい拍手が生まれ、それがまた、この会のあたたかみを増しているようでした。



前に立つ5年生は、もう立派な最上級生でした。6年生もきっと、安心したことと思います。

会の最後に、6年生から全校の子どもたちに、「感謝」という言葉が贈られました。

「感謝の気持ちを大切に、学校生活のいろいろなことを一生懸命がんばってほしい。」

という6年生の熱い想いが込められた言葉です。

私が松田小学校に就任した年には「夢」という言葉が贈られました。そして昨年度の「主体的」、今回の「感謝」とそれぞれの年度の卒業生の願いや想いがそれらの言葉でしっかりとつながっているように感じます。

1年生から5年生まで、感謝の気持ちを伝えることで、「感謝」という言葉をお返しにももらいました。自分の周りにいるすべての人に感謝の心を向けられれば、更に素敵な学校になっていくでしょう。そんなことを感じさせる素敵な会でした。



がんばれ！！

「がんばれ！！」

「もう少し！」

「できるよ、できる！！」

2年生の体育の時間です。

鉄棒の逆上がりを一発懸命

練習している子には、自然とクラスの間からこのような声かけが飛んできます。

逆上がりができなくても、何度も何度も挑戦する姿は、周りの子の意欲や優しさにもつながっていくようです。

グラウンドの完成を受けて、遊具や鉄棒での学習が進んでいます。子どもたちは3年間のブランクを感じさせない意欲と活力を見せてくれています。

登り棒や雲梯、鉄棒など体力の低下が心配されていましたが、ブランクを感じさせない子どもたちの様子に職員も一安心です。それ以上に子どもたちのこのようなあたたかい関係がはっきりとした形で見えてきていることに、

「学校っていいところだなあ…。」

と改めて感じました。



長昼休みの遊具のようす

春がきた

前号で紹介した1年生が育てているチューリップが一斉に開き出しました。色とりどりのチューリップを見るのも心が和みますが、それを見つめる1年生の表情が、なんとも言えないほのぼのとした雰囲気をかもし出してくれています。幸せそうなその顔を見ていると、私まで幸せな気分になります。

いよいよ春本番、進学、進級の季節がやってきました。1年生はチューリップに水をあげながら、自分たちの心にも栄養をたっぷり蓄えたようです。2年生として、素敵なお兄さん、お姉さんになってくれそうです。春がきました！！

